

新型コロナウイルス感染防止ガイドライン（関東連盟秋季大会）

関東連盟では、本大会に備え日本協会作成のガイドラインにくわえて、下記ガイドラインを追加させていただきますので、周知徹底をお願いいたします。

球場での注意

- (1)各チームは、試合当日の選手・指導者の健康状態とスタンドでの応援体制をチェックした「新型コロナウイルス感染防止シート」（連盟 HP にアップ）を各球場の大会本部に提出する。大会本部は、提出されたチェックシートを確認すると共に、選手・指導者全員の検温ならびにアルコール消毒、マスクの着用を確認する（球場により自治体の指定用紙の場合がある）。
- (2)選手、指導者、スコアラーは、ベンチ内では必ずマスクを着用する。ただし、熱中症の危険があると判断した場合、会場毎にベンチ内選手のマスク着用を免除する場合がある。また、責任理事ならびに審判の判断により、攻撃チームのベンチ内が密とみなした場合は、選手 10 名前後をベンチ外に出す場合がある。
- (3)攻撃前にベンチ前で選手に指示をしても良いが、適度に間隔を開ける。円陣を組んでの最後の掛け声は禁止とする。
- (4)試合前および試合後の消毒を徹底する
 - ①第 1 試合前に球場提供チームがベンチの消毒を行い、試合後は各チームで行う。
 - ②トイレ洗面所には、手洗い用の石鹸水を備えこまめな洗浄を行う。
- (5)用具の消毒をするために大人 1, 2 名のベンチ入りを認める。
- (6)試合中のチーム応援は、チームでコロナ感染防止管理責任者を決めて名簿に記入し、応援席でのマスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保、大声での応援禁止等、感染防止を徹底させる。
- (7)各球場の場内放送で、応援席での感染防止注意事項を試合前、3 回、6 回の開始前に放送する。

移動時の注意

- (8)選手の移動時には「3 密」を避け、マスクを着用し大声での会話は控える。

※大会期間中、上記ガイドラインが守られないチームに対しては出場停止処分とする場合があります。

※厚生労働省の「新型コロナウイルス接触確認アプリ」をスマホにインストールされることをお勧めします。https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html